

さくら会 会報

ご挨拶

植草学園さくら会 会長 小林 鶴枝

植草学園さくら会会員の皆様におかれましては、平素より同窓会活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、会員の皆様の多くは、福祉・医療・教育の第一線でご活躍のことと存じます。新型コロナウイルス感染拡大の終息の兆しが見えない中、皆様を必要とされる方々のために、現場で奮闘して下さっているものと大変心強く思っております。

私は、昨年の暮れに、この会報の原稿依頼した卒業生の方とお話をさせていただきましたが、前向きに夢をもって進んでいらっしゃるお声に、とても元気をいただきました。卒業生の元気や頑張りの一つひとつが、母校を支えていくものであると思います。大変な時代であるからこそ、明るい未来のため、それぞれの現場で活躍できる人材でありたいと思います。

さて、植草学園さくら会の令和2年度の活動は、「会報発行」のみとなりました。1年に一度ではございますが、会員の皆様が母校や学友を思い出すきっかけになっていたただけたら嬉しく思います。どうか皆様お元気で、終息しましたら、ぜひ、母校へ足をお運びいただければ幸いです。



幼専卒13期生



小倉キャンパス満開の桜

保健医療学部 リハビリテーション学科がスタート

学校法人 植草学園 理事長 植草 和典

今年度から大学に作業療法学専攻を設置したことにより、これまでの理学療学科をリハビリテーション学科に変更しました。作業療法士は生活行為に障害があるとき、それを治療、指導、援助する生活のスペシャリストです。理学療法士とともに医療・介護現場でインクルーシブ社会を支える存在として、その活躍が期待されます。

主にリハビリテーション学科の実習が行われる新しい校舎(T棟)も完成し、11月12日に記念の植樹が行われました。植樹された木は、元顧問鷲田先生からの推薦で「ゆづりは」にしました。「ゆづりは」は若葉がでると前年の葉が譲るように落葉し、親から子へ家や事業を継承し栄えていく縁起物とされています。我々も先達からの意志を次に継いでいく、そんな思いを強くした植樹会となりました。



会報誌 記事募集

会員の皆様とつながりの場になればと思いますので、プチ同窓会の様子、勉強会の様子など、さくら会会報誌に記事をお寄せください。なお、就職に関する情報等もお待ちしております。

大学キャリア支援課(もしくは各同窓会役員へ)『sakura@uekusa.ac.jp』へお送りください。

令和2年度 植草学園さくら会役員

- 顧問 植草和典 植草完 中澤潤 ※令和3年度は総会後に決定します。
- 会長 小林鶴枝
- 副会長 木村昌代 川尻香織 半田貴大
- 監事 岡田泰子
- 理事 齊藤京子 松本珠代 景山明子 鈴木朱美 小笠原晴代 信田一美 岡田眞貴子 竹村美紀 井上真理 菅谷咲稀 関桃子 山下夏生 和田鈴音楠 三上恵理 渡邊真由
- 企画委員長 宇部裕美子
- 会報編集委員長 斉藤清美
- ホームページ委員長 伊藤楓 ● 代議員 各校より計22名
- 大・短同窓会協力委員会 根本曜子 村上悦子 荒金房子 千葉諭
- 高校協力員 根本薫雄 ● 学園事務局長 手塚千俊 ● 事務局 キャリア支援課

植草学園さくら会ホームページ

植草学園大学、植草学園短期大学のホームページメニューから、「学園について」→「植草学園さくら会(連合同窓会)」をクリックし、植草学園同窓会のホームページにお入りください。

URL <http://www.uekusa.ac.jp/>

会報誌の発送停止・住所変更に関することは各同窓会係まで
 大学・短大：キャリア支援課 043-233-9080
 高校：附属高校 043-252-3551
 幼専：美浜幼稚園 043-277-2361
 (学校業務中のため16:00以降にお願いします。)

植草学園大学

会長挨拶



植草学園大学同窓会 会長 半田 貴大



同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。いつも同窓会にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
今年度は新型コロナウイルスによる影響で本会も各イベントが中止となりました。大変な状況ではございますが、卒業生の皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。

コロナと共存する生活様式は不便さも多々ありますが、お互いコロナ対策に留意し、日々元気に過ごされていることを願っております。

さて、申し遅れましたが今年度より会長に就任しました。発達教育学部4期卒業生の半田と申します。みなさん半田君ですよー?? ご存じの方は元気にされてますかー?? 初めましての卒業生の方はよろしくお願いたします! たまには大学の方にも顔を出してくださいね。

また私は現在本学キャリア支援課にて勤務しております、同窓会活動はもちろん卒業生の就職支援にも対応いたします。キャリア支援課へ直接ご訪問頂いても構いませんし、同窓会活動の合間にご相談いただいても大丈夫です。お気軽にご相談ください。

小林課長とキャリア支援課でお待ちしておりますね。

また同窓会会長として今後も、皆様楽しんでもらえるような企画・運営を行っていきますので、どうぞよろしくお願いたします。来年度の大学同窓会総会、緑栄祭の卒業生の集い等各イベントでまた皆様とお目にかかれることを願っております。

学長挨拶



植草学園大学 学長 中澤 潤



植草学園大学は、本年度保健医療学部の理学療法学科をリハビリテーション学科とし、理学療法の専攻に加え作業療法専攻を設置いたしました。記念すべき第1期の入学生を迎え、担当教員は一致協力して教育の充実に努めております。

新型コロナウイルスの感染が広がり、大学は短大とともに本年度前期は遠隔授業を展開することとなりました。3月末から5月初旬の遠隔授業開始に至るまで、学生、教員ともに準備に努力し、無事に授業を迎えることができました。遠隔授業については、学生の評価も高いようです。対面授業も重要ですので、徐々に実技科目や実習を開始しております。引き続き感染防止に努めてまいります。



アート&サイエンスを備えた 作業療法学専攻専用校舎(T棟)

2020年春に作業療法学専攻を新設。作業療法学専攻専用の新校舎、音楽療法やロボットテクノロジーなど最先端の治療法を学びたい学生への準備も万端です。リハビリ治療を必要とする人の健康と幸福の向上を図る作業療法士を育成します。



アートラボ(基礎作業実習室)

基礎作業学、音楽療法、感覚統合、レクリエーション、子どもの遊びなどの演習で使用します。



サイエンスラボ(測定室・評価室)

運動学実習、作業療法評価学、作業療法治療学などの演習や卒業研究で使用します。



生活空間実習室(リビング・ダイニング)

障害者・高齢者の生活空間をシミュレートし、生活行為の評価法・介入法を学びます。

卒業生の声

植草学園大学 発達教育学部 発達支援教育学科
8期卒業生 船ヶ山 優奈さん



私は現在、福島県須賀川市の保育園で働いています。1年目は2歳児クラスの担任、今年はフリーとしてさまざまなクラスに入って子どもたちと過ごしています。先輩の先生方に子どもたちとの関わり方や過ごしやすい環境づくりなどを教えていただき、楽しく充実した日々を送っています。

毎日の中で、壁にぶつかることが何度ありますが、子どもたちの成長を1番近くで見守り、嬉しさを共有することができる保育士の仕事にとってもやりがいを感じています。これからも、多くの経験をしていく中で笑顔と明るさを忘れずに自分らしく、子どもたちの成長を見守り続けていきたいと思っています!

植草学園大学 保健医療学部 理学療法科
9期卒業生 山崎 美佑さん



東京ベイ・浦安市川医療センターに理学療法士として就職し、9ヶ月が経ちました。急性期病院のため、整形外科や脳神経外科だけでなく内科や外科などの幅広い疾患の患者様を担当しています。

入職当初、患者様や他職種との関係の築き方、リスク管理、カルテの記載に慣れず苦悩しました。現在は、先輩方からアドバイスを頂きながら臨床に励んでいます。

新型コロナウイルスの影響により、リハビリ室では病棟担当制への変更、休憩時間の設定などの感染予防対策の徹底に努めています。

今後、患者様だけでなく他職種からも必要とされる理学療法士を目指し、日々の臨床に励んでいこうと思っています。

植草学園大学 発達教育学部 発達支援教育学科
8期卒業生 勝又 瑞穂さん



大学を卒業して現在、保育士2年目になりました。市川市の私立認可保育園で働いています。昨年度に引き続き、今年度も1歳児の担任を務めています。乳児は1日1日小さな成長もたくさん見られ、とてもやりがいを感じられます。子どもの気持ちを上手く汲み取るのは難しいですが、試行錯誤しながら励んでいます。

今後は幼児ともかかわる機会を増やしていきたい、授業やゼミで学んだ造形表現を活かしていきたいと考えています。

子どもからも保護者からも必要とされる保育者を目指していこうと思っています。

植草学園大学 保健医療学部 理学療法科
9期卒業生 上遠野 颯汰さん



私は現在、船橋市の病院で理学療法士として働いています。主に整形疾患の入院患者様を担当しています。日々、「患者様の退院後の生活が入院前より豊かになるにはどうしたら良いのか」と試行錯誤しながら励んでいます。

今年度はコロナウイルスがあり、臨床現場は大変ですが、先輩方や患者様から多くの事を学ばせて頂いています。今後はたくさんの疾患を見る機会が増えるためどの分野に興味があるのかを知り、患者様の1番近くで寄り添うことのできる理学療法士を目指して行こうと考えています。

4月から社会人になる学生の声



植草学園大学 発達教育学部 発達支援教育学科
10期卒業生 吉國 将司さん

私は春から小学校の教員として働きます。ここからがスタート地点なので、たくさんの人の技術や教員としての振る舞い方をしっかりと吸収していきたいと思っています。

子どもたちに負けないパワーを持ち、楽しいことや悔しいことを共に経験し、一緒に成長を感じていけるようなパワーのある教員でいたいと思います!

初心を忘れずに楽しく、自分の持ち味を存分に発揮し、目の前の子どもとたくさんの思い出を作れるよう、日々勉強して輝いていきます。笑顔で頑張ります!



植草学園大学 発達教育学部 発達支援教育学科
10期卒業生 鈴木 歩美さん

春から千葉県特別支援学校の教員として勤務させて頂くことになりました。

私は昔から、何においても不器用で、周りの友達と比べていつも遅れをとってしまうような子どもでした。そんな私に自信を与えてくれたのは「学校の先生」でした。

これから出会う子どもたちは、これまでの私以上に、悔しさと困難を抱えている方々です。「焦ったり、比べたりしないでいいから、自分の一歩一歩を大切に歩んでほしい」これまで 出会った先生から教わったことを、今度は私が沢山の子どもたちに伝えられるよう、一人ひとりに寄り添える教員になりたいと思います。そして、未来へ羽ばたく子どもたちが、母校に誇りをもてる学校を作ります。



すっぽく
るイも
たるト

編集
委員より

今年はコロナウイルスの影響で毎年行っている同窓会を行うことができませんでした。みなさんも学生時代の同級生と直接会って話をする機会等があまりなかったのではないのでしょうか?そこで、この会報を卒業生のお知らせ掲示板として活用していけたらと思います!卒業生に届けたいお知らせや報告等をお待ちしております!!

植草学園さくら会報編集委員 大学同窓会一同

Twitter



フォローしてね!!

植草学園短期大学

会長挨拶

植草学園短期大学同窓会 会長 川尻 香織
(児童障害福祉専攻15期生)



卒業生の皆さん、いつも同窓会活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で職場を語る会が中止となり、総会はオンラインでの開催となりました。今後の感染状況にもよりますが、今年度もまた皆さんに楽しんでいただけるような内容を考えていきたいと思っていますので、ぜひ総会、職場を語る会にご参加ください！1日でも早く元の生活に戻り、また皆さんとお会いできる日を役員一同、楽しみにしています！！



学長挨拶

植草学園短期大学 学長 中澤 潤



本学、「地域介護福祉専攻」は、開学以来、多くの優れた介護福祉士を輩出し、地域の福祉に大きく貢献してまいりました。しかしながら、近年志望者が減少し、定員を充足できない状況が続く、やむなく募集を停止することいたしました。本年度は、最後の学生が、専攻の有終の美を飾るべく、コロナ禍の中で学修、実習に励んでおります。地域介護福祉専攻を支えていただいた先生方、地域の皆様、同窓会の皆様には心より御礼を申し上げます。

令和3年度より、短大福祉学科は子ども未来学科となります。乳幼児の教育・保育を中心にしながら、インクルーシブ保育、特別支援教育といった「児童障害福祉専攻」の伝統を引き継ぎ発展させてまいりますので、どうかよろしくお願いたします。

植草学園の仲間との夢

地域介護福祉専攻 4期生 小菅 秀美

私が植草学園を卒業して早いもので17年が過ぎました。17年前に卒業しても今でも植草の仲間とは良く遊んだり悩みを相談したり、切磋琢磨できる存在です。そして先生方もどんなに離れていても私たちを支えてくれる存在に変わりはありません。皆が私を支えてくれるから辛い時、苦しい時も臆することなく何事にもチャレンジする勇気をくれて頑張ることができています。

私には叶えたい夢があります。同窓会役員をしていた時に卒業生の仲間たちと語り合った植草学園内に通所介護事業所を立ち上げて自分達で運営して行きたい。と言う夢です。その夢はもう叶う事は出来ませんが今でも叶えたい私の夢です。

私はその夢を叶えるべく来年度中に、初任者研修や、実務者研修の資格取得が出来る塾と通所介護事業所を開設する予定です。専攻科が無くなっても植草で学んだ知識や技術、仲間たちと描いた夢と絆をこれからの未来に繋いでいきたいと思っています。ありがとうございました。



植草学園短期大学卒業生からご報告 わたしたち結婚しました♡

積田 政也 児童障害福祉専攻 10期生
積田 彩花(旧姓:荻島) 児童障害福祉専攻 12期生



私たちの出会いは短大の食堂でした。私は短大生、夫は大学生でしたが、短大から編入した夫は短大の食堂で過ごすことが多かったのです。初めて話したのは緑栄祭で、TwitterのDMで連絡を取り合うようになり、勝浦や鎌倉でのデートを重ね、付き合うようになりました。年齢も学年も2歳差、同じタイミングで卒業し、社会人となりました。

2人とも保育士として働く中で、お互いの園の保育を情報交換することにより、自分の保育に生かせることは取り入れたり、仕事の楽しさや辛さを共感したりすることができました。細かく話さなくても分かり合えるところは、同じ職種同士のメリットです。

娘も産まれ、子育てしながらの仕事はとても忙しいですが、週末にはサイクリングやプロジェクターでの映画鑑賞等、家族で過ごす時間がとても幸せです。これからも、お互いを思いやる気持ちを忘れずに、仕事や子育てを頑張りたいと思います。



同窓生通信

児童障害福祉専攻 石亀 彩

こども園に勤めて1年目、2歳児の担任をしています。失敗も多く迷惑をかけてばかりですが優しい先輩方に教えていただき日々勉強し保育に励んでいます。面白い先輩方も多く日々の保育も楽しみながら行っています。大変なこと以上に子どもたちと過ごす時間は楽しくとても癒されています。今年はコロナの影響もありできることが限られたり今までできていたことができなくなったりと不安なことも多くありましたが、先生方と子どもたちと充実した日々を過ごしていけるように努めていきたいと思っています。休みの日には友達と電話をして遊んでリフレッシュをしています。

仕事に行きたい、子どもに会いたい、そう思える環境に恵まれながら楽しく頑張っています！



地域介護福祉専攻 箕輪 朋代

～入職して11か月が過ぎました～

私は卒業式を待たず2月に「社会福祉法人 風の村 ショートステイ稲毛」に入職しました。ショートステイでは、利用者が日々入れ替わるので、ルーティンな事を覚える事はもちろんですが、利用者の個別な対応が臨機応変に求められます。植草の2年間で学んだ知識や実習で経験した事は現場でとても役に立っています。しかし、日々変わる利用者や接していると、これからもまだまだ学び続けなければならないと痛感します。多様な利用者に対応するには、やはり自分の引き出しをたくさん持つ事が大切だと先輩職員の背中を見ながら、日々仕事に励む毎日です。

同窓会活動報告

2020年11月21日(土)
オンライン総会

2021年2月20日(土)
短大同窓会役員会

今後の同窓会活動予定

新型コロナウイルス感染状況により、今後の活動の目途は立っておりません。ご了承ください。



編集
委員より

こんご時世ですが、同窓生の皆様から暖かい記事をいただきました。ご協力してくださった方々ありがとうございます。今後とも短大同窓会をよろしくお願いたします。

植草学園さくら会会報編集委員 吉野 碧・石亀 彩

植草学園大学附属高等学校

会長挨拶

植草学園大学附属高等学校 会長 木村 昌代



同窓生の皆様、いつも同窓会の活動にご協力とご理解をいただきましてありがとうございます。このたびの新型コロナウイルス感染拡大により、同窓生の皆様におかれましても、生活に様々な影響を受けていることと存じます。高校でも予定していた文化祭の中止が余儀なくされました。新たな生活様式を実践しながら、皆様もお体をお大事になさってください。次回の総会でお会いできますことを楽しみにしております。

校長挨拶

本校における国際理解教育(海外修学旅行を中心に・・・中期)

植草学園大学附属高等学校 校長 植草 完



今回は本校の国際理解教育の柱である海外修学旅行について、その始まりから台湾での実施までを紹介しました。同窓生の皆さんに思い出していただいたり、懐かしさを感じたりアルバムを見直す機会となっていたら嬉しいです。今回は海外修学旅行当初より計画していた英語圏での実施を振り返ります。米国での実施に当たり、現地の状況視察が行われました。現地の体制が充実しているJTBの協力を得て、宿舎の環境や安全性、最も重要な交流校の視察、訪問地の状況など色々な角度からの検討を重ねました。訪問時期についても現地校の行事計画との調整をし、2月に実施することになりました。

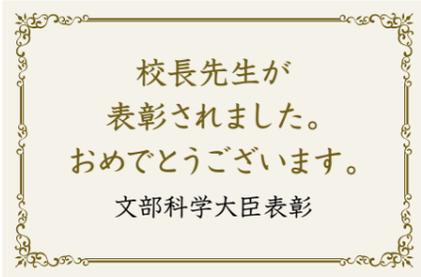
2年生の2月ということでもしっかり準備をして臨めるようになりました。英語の授業でも旅行や学校交流、ホームステイの場面を取り出しているskit練習をし、スキット発表会でお互いに刺激しあったり、毎週ウィークリー・フレーズ(weekly phrases)を張り出し練習しました。

そして、第20回(2000年2月)のロサンゼルスでの海外修学旅行となりました。2001年9月に米国同時多発テロがおき、第22回は国内での実施となりました。翌年には再開し、第28回まで続きました。当初はロサンゼルス市を中心に活動し、リトル東京、日系人博物館、ドジャースタジアム、ユニバーサルスタジオハリウッド、ハリウッドハイランドのゴダックシアター(現在のドルビーシアター、アカデミー賞の会場)などの見学や学校交流時には、当時の福祉クラスはケイローナーシングホーム(日系人の老人ホーム)を訪問しました。

英語科は第14回(平成5年)から第25回まで、長期休業中のホームステイを修学旅行として実施していました。長期の研修は大きな成果を上げていましたが、経済的な理由や学校全体の年間計画などの関係から第26回(平成18年2月)からは普通科・英語科が同時期に実施するようになりました。

第29・30・31回はオーストラリアでの実施となり、第29回は古都ブリスベンやゴールドコーストでの実施、30・31回はケアンズで、世界最古のジャングルと言われるキュランダでのアボリジニの文化体験や自然体験、グレートバリアリーフの一部グリーン島での自然体験なども思い出されます。カンガルーやワニを食べたことも思い出されます。南半球での実施となり、2月なのですが初夏の陽気、時差も一時間なので体調を崩すことも少ない状況でした。

前回と今回で終えるつもりでしたが、振り返ると思い出されるものも多く、第32回から現在までは次回に回すことにします。



校長先生が
表彰されました。
おめでとうございます。
文部科学大臣表彰



卒業生訪問

コロナ禍のせいで今年度は卒業生の訪問もお断りせざるをえないこともあり、心苦しく、寂しく思っていました。この春に植草学園大学を卒業するお二人が、高校、大学ともに恩師であるマーク先生を訪ねてきていたので、写真を撮らせてもらいました。部活や先生方に会うために来てくださったのに、叶わなかった卒業生のみなさま、本当にごめんなさい。

お二人はそれぞれ4月から教員になります。
高校、大学で学んだ【植草イズム】を生かして頑張ってくださいね!

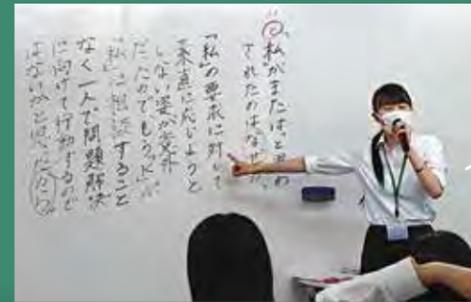


土屋果蓮
植草学園大学
令和3年4月より
千葉県小学校教諭

井上悠香
植草学園大学
令和3年4月より
千葉県特別支援学校
教諭

令和2年度教育実習

コロナ禍にもかかわらず2名の卒業生が教育実習に来てくれました。ソーシャルディスタンスを守っての実習でしたが、生徒とはとても仲良くなり、お二人とも教員になる意志を強くしたようでした。精練授業ではそれぞれが生徒に助けられている様子が伺え、とてもほほえましいものでした。コロナ禍やらなにやらで教育はとても大変な仕事ですが、得るものもきっと多いと思います。4月からも頑張ってくださいね。



石田 まりも
明海大学
外国語学部 日本語学科

石川 亜美
東京女子体育大学
体育学部 体育学科

石田先生は夏目漱石の【こころ】を題材に教えていました。ちなみにここは高校自慢のAL(アクティヴラーニング)室です。



石川先生は薬物を題材にしていました。風邪薬の空き箱を用いて視覚に訴える授業を展開していました。

臨時休業中、先生方は何をしていましたか?

このコロナ禍で、植草教員歴20年になろうとする筆者も始めて経験した、おおよそ2ヶ月にわたる臨時休業(2月29日~5月31日)、その間、先生方は何をしていたのか、今年の3年生を担当していた先生方に聞いてみました。



海保先生

休校期間は娘たちの隣で遠隔授業を録音していました。録音した授業には娘たちの騒いでいる声が入っています。在宅ワーク感が満載の遠隔授業だったと思います。



中村先生

毎日、犬と一緒に近所を散歩していました。



北川先生

ひたすらマスクをチクチク縫いで作る毎日。まだまだ小さな針穴に糸通せる自分に一安心(笑)。



浅田先生

『断捨離で手が止まってから3時間』なぜ読んでしまうのか、謎ですわ。



黒川先生

自粛期間中は、体力が落ちないように筋トレやウォーキングをして、汗をかいていました。(家にいるのが耐えられず(><))この写真は近くの海岸です。



鳩谷先生

100K走れるよう、ヒルクライムに挑戦出来るよう練習していました。境田の交差点を通過し、筑波山を眺めがりの走行は最高です。



桐生先生

コロナ期間中ホットトレーニングをしていました。結果10キロ減量。今はケレリバンド気味です。



編集委員より

いつもやっつけ仕事感が否めないさくら会報ですが、令和2年度は本当に自転車操業でした。私事ですが、いえ、私事ですからここに書くのはやめます。みなさまくれぐれもご愛ください。「コロナに負けるな!」

植草学園さくら会報編集委員 竹村 美紀・木村 昌代

植草文化服装専門学校、植草家政高等専修学校同窓生より

植草文化服装専門学校 技術専攻科 昭和57年度卒業 吉田 順子さん

植草学園家政高等専修学校・被服科と植草文化服装専門学校・技術専攻科を卒業しました。新卒で「ハナエ・モリ」に入社して、オートクチュールのドレスを制作するアトリエに配属になり、私はコレクションのドレスなど、見たり手にしたりして、早くこのようなドレスが縫えるように成りたいと思うようになり、先輩方がパリコレのため出張に行く姿を見て、私も仕事でパリへ行きたい、自分の目でパリコレが見たいと思うようになり、私の目標になりました。

28才の時にパリへ出張することになり、とても良い経験になりました。そして、何度かパリへ出張するうちにパリのスタッフにも顔を覚えてもらえるようになり、「今回は吉田さんなのね」とパリの人たちに言ってもらえるようになり、とてもうれしかった思い出があります。

いろいろな洋服・ドレスなど作りました。バルセロナオリンピックと冬季リレハンメルオリンピックのユニホームのサンプル作り、リレハンメル時に着用したジャンプスーツは、前中心から股ぐりを通り、後ろ中心Wまでの長いファスナー開きで、付けるのに苦労した思い出があります。

芸能界では、美空ひばりさんの最後のドーム衣装赤・黒のドレスでは、不死鳥の黒のドレスは私は入社して2～3年ぐらいでしたのでピースやспанコールなどを刺したりしていました。

由紀さおり・安田祥子姉妹のコンサート・紅白の衣装や、昨年亡くなられた佐藤しのぶさんの衣装などを手がけて来ました。

現在では、平成から令和になり、皇室の雅子さま、紀子さま、眞子さま、佳子さま、華子さまのローブデコルテ・モンタントなどが、以前よりも多くオーダーが入り、雅子さまの即位パレードのドレスは婚礼のパレードに着用した花びらのイメージを希望されたので昨年作らせて頂きました。

コロナで自粛中は、お客様の来店が出来ず、仕縫い、中縫い、納品がストップしてしまいましたが、その中でも中島香里さんは、ショップチャンネルの出演があり、毎月10着前後のショートドレスのオーダーがあります。ドレープ生地をつまみ1つづつ止め作業、柄おこし、アップリケなどの手作業の多いドレスです。とてもやりがいのある仕事だと思います。ハナエ・モリに入社したからこそ出来る仕事だと思います。



(後列左から2番目が吉田さん)



リレハンメルオリンピック時のジャンプスーツのサンプルを試着

植草幼児教育専門学校

会長挨拶 植草幼児教育専門学校同窓会 第14期生 会長 小笠原 晴代

皆さまお元気でお過ごしでしょうか。コロナ禍で人と気軽に会う楽しみが少なくなった分、人との繋がり大切さを感じた一年でしたね。

同窓会活動も感染拡大防止に努め、理事長先生、顧問の先生方よりアドバイスをいただき、役員一同が集まり毎年行っていた総会を書類審議と形を変え、無事に終えましたことをご報告致します。内容についてはホームページをご覧ください。

最近嬉しかったことがあります。それは、前号の会報記事を見た友達が久しぶりに連絡くれたことです。保育士経験後看護師資格を取得し現在もご活躍中とのことで、驚きと共に記憶が一瞬で幼専時代に戻り、懐かしさでとても温かい気持ちになりました。思い出は、未来への原動力になるとも言われていますので、この時代だからこそそうち時間にアルバムを開いて懐かしさに浸り、パワーを溜めてみていいですね。

同窓生の窓 植草幼児教育専門学校 第10期生 岩崎 文代 (旧姓 宇津木)

私は38年前に幼専を卒業し、その後結婚や親の看病もありましたが、ずっと教育現場にいらることができています。現在勤務している幼稚園では年少組の担任をしており、子ども達が心から可愛いです。若い時は、まさか定年近くまで子どもと遊べるとは思ってもいませんでした。家族や友達にも感謝していますが、仕事仲間の存在は大きかったと思います。職場では毎朝職員が声に出している素敵な言葉があります。それは「みんなで作ろう」です。コロナ禍でも、皆で明日をつくりたいですね。



顧問、役員紹介

現在、このメンバーで運営しております。皆さまからのお便りお待ちしております！ 今後ともよろしくお願いいたします。

植草幼児教育専門学校同窓会へ寄付していただいた皆様、ご協力ありがとうございました。大切にさせていただきます。